

あなたとつなぐ 甲賀 市議会だより

KOKA city assembly report

令和元年(2019)11.01

vol.60

甲賀市まちづくり活動センター
marOOM
まるーむ



Contents

- | | |
|----|----------------------|
| 02 | 特集①若者モニター・女性モニター会議 |
| 04 | 特集②議会報告会 |
| 06 | 平成30年度決算 |
| 09 | 9月定例会議案審議 |
| 11 | 常任委員会報告 |
| 14 | 特別委員会報告 |
| 15 | 一般質問／市の考えを問う |
| 23 | 組合議会報告 |
| 24 | あなたとつなぐ・市議会議員紹介Vol.6 |

議会だよりダイヘンシン



次代を担う若者たちの声、想い、目線を知りたいと、モニター会議第3弾を開催。成人式実行員会のメンバー4人が本気トーキングしてくれました。

広報担当議員も甲賀市のこれからに『もっといける!』と手ごたえを感じるセッションになりました。

若者モニター会議(通称・若モニ会議)の様子をご紹介します。



- 情報はスマホから。
- ツイッターの公式アカウントにPDFで議会だよりを貼り付けて、タイトルで目をひくようにしては。インスタはフォロワーを獲得しない。
- フェイスブックは若者はしているイメージ無い。
- ラインの公式アカウントもいる。

議会だよりについて



僕等の一言

- アニメ「バジリスクー甲賀忍法帖一」が全国的に有名。アニメのファンは熱が強い。甲賀忍者とコラボして、ご当地限定な物があればコアなファンは来てくれると思う。
- 貴生川駅周辺整備の完成が2040年というのは遅すぎる。僕たちはその時40才。この時に実現しても今の人たちの声は変わっている。検討中ではなく実現して欲しい。
- 子どもの数が減ってきている。今の若い世代がスポーツで活躍していくように、スポーツの森や運動施設をもっと整備して、スポーツで栄える甲賀市を作っていくらいと思う。

甲賀市について



- 栄え過ぎず、田舎過ぎず、中間がない。
- 駅前が栄えていない。駅前が栄えていると街も栄えていると思う。
- 公共交通の帰りの時間が早すぎるのでいい。

アンケート結果

若者モニター・女性モニター会議
参加者7名

市議会のことについて

どんな議員がいるか	
知っている 1 / 知らない 6	
いつ議会が行われているか	
知っている 0 / 知らない 7	
市議会の議場がどこにあるか	
知っている 2 / 知らない 5	

普段情報を得ているメディアは?

新聞	1	テレビ	3
ラジオ	0	雑誌	0
フリーペーパー	2	インターネット	2
SNS	5		

市議会だよりについて

知らなかった	1
知っていたが、読んだことはない	3
読んだことがあった	3

SNSで使っているものは?

LINE	7
フェイスブック	1
インスタグラム	5
ツイッター	5

いつもきちんと現実を見つめる女性の方々のご意見をお聴きました。モニター会議第4弾は女性くのモニター会議(通称・くのモニ会議)です。

やはり女性の視点は重要だと実感する時間となりました。

くのモニ会議の様子をご紹介します。



- 一般質問の目次が見やすい。ここにある質問を読む。
- くのモニ会議の様子を紹介します。



議会だよりについて



- 最近の議会だよりは写真が魅力的。中もカラーで読みたくなる。
- スーパー・病院に置いてあっても素通りしてしまう。レジの横やサッカーレポートにあれば手に取りやすい。
- コンビニは男性や若者は行く人が多い。主婦層はあまり行かない。
- ラインの公式アカウントで情報発信、発行した事もお知らせすると見てもらいやすい。
- 主婦層は家族などに影響力があるのでターゲットを主婦層に絞った方が見る。



- 外国人にも分かるように「やさしい日本語」を使ってはどうか。
- 全部はなかなか読めない。興味のある所だけ読む。

甲賀市について

- 道路の作り方が上手ではない。右折だまりが出来なくて渋滞が多い。土地を売つてももらえないのかな。
- 高齢者がバスに乗る時、大型バスはステップが高くて乗れない。
- バス停が遠く、せっかく無料乗車券をもらつても乗れない。要介護の人は介護タクシーがあるが、自分で行ける人が困つておられる。
- 免許返納される人も多くなつているのに、代りの交通手段がない。
- バスと電車の乗継が不便。すぐ時間がかかる。

- 甲賀市が何をしているか、市全体の情報が分からぬ。もっとPRして欲しい。

- まる一むは使いやすい。勉強の出来る場所が市内には無いので、「まる一むで出来る」という情報がぱつと広がつた。

モニター会議を終えて

まずは参加してくださった皆様に心から感謝しています。「もっと市政に興味を持って読みたい」「市議会が重要な事に関わっているとわかった」「自分達の声をあげていきたい」など本当に嬉しいお言葉をいただきました。

前回からご意見を取り入れ、議会用語解説やホームページで議会だよりのダイジェスト版を載せています。これからもモニター会議でのご意見を活かしていきたいと思います。
ありがとうございました。



特集② 議会報告会

市議会について、広く市民に知つて頂くとともに市民の声を市政に反映させるために、議会基本条例に基づき、毎年議会報告会を開催しています。しかし、効率よく的確に市民の声を十分聞き取れていないことへの反省により、報告会の形に試行錯誤をしていました。



班	開催日	場 所	テマ	参加者
厚生文教	7/24	まる一む	ゆたかな高齢者支援をめざして	福祉関係者
総務	7/25	土山開発センター	土山地域市民センター等の改修について 旧鮎河・山内小学校の跡地利用について	一般市民
産業建設	8/5	(株)日立建機ティエラ	甲賀市の産業振興について	甲賀市工業会

第8回議会報告会の開催について

厚生文教班・高齢者支援の課題

当委員会は「あい甲賀いつもの暮らしに『しあわせ』を感じるまち」実現のための3つのテーマ①子育て・教育②地域経済③福祉・介護の内2つを所管するため、市民にとって身近な施策を数多く審査している。

昨年の報告会は子育て世代の市民にご参加していただき、遊び場や遊具の不足を指摘いただいた。今年度、公園の遊具の修理補助などの「プレイパーク整備推進モジュール事業」を立ち上げ、既にご利用をいただいているが、まだ余裕があると聞いているので是非ご活用いただきたい。

今年度は、敬老祝い金の改正に伴い、高齢者の①生きがい対策②移動支援③健康寿命の延伸対策を講じることになったので、テーマを「ゆたかな高齢者支援をめざして」とし、福祉やボランティア関連の市民に集まっていたとき、フリートークをしていただいた。

災害時の高齢者避難支援については、個別計画の取り組み区数も低いが、作成率(同意率)の低さが問題である。高齢者だけでなく、

障がい者・引きこもり・外国籍の方々も視野に入れるべきとの指摘があつた。また日常のお付き合いが大切との意見もいただいた。移動支援については、免許証返納は死活問題であり、コミバス・コミタクもまだまだ不十分との意見が多かった。

他にも沢山のご意見やご要望をいただいた。今後、施策への取り組みを推進していく。



特集②議会報告会

総務班・土山地域の課題

7月25日、総務常任委員会の議会報告会を土山町で開催した。委員会としての課題である、「公共施設のありかた」を土山に置き換えて、2点に絞り報告をした。

1点目は、開発センター老朽化に伴い土山地域市民センターの改修計画、2点目は旧鮎河・山内小学校の跡地利用について現在の計画も含め報告した。

公共施設については、「水口中心に整備されている」「市民センターの改修は土山が後になつてゐる」との不満がでたが、当初開発センターの機能を市民センターに移行する事になつていたが、区長が、本委員会の取り組むテーマは、住民生活に直結する大きな問題であると認識している。本年は土山町のみなさんのご意見も充分とまではいかなくとも、お聞かせいただいた。今後の委員会において、所管からの報告や計画を受け、住民の皆さんからのご意見を踏まえ、議会としてどうあるべきか、しっかりと議論をしていきたい。

今回の議会報告会は8回目の開催となる。昨年からは、委員会の



産業建設班・ものづくり企業の課題

産業建設班の意見交換会では雇用問題とそれに関連した居住環境、公共交通に関して議論が終始した。雇用状況については、十分足りていると言う声もあれば、足りないと言う声もあり様々であった。

現在高校新卒採用では1人につき5社選べるほどで、目標の採用人数に到達せず、女性、高齢者、外国人、障がい者雇用も同時に進められているようである。

合併から15年を迎えた施設の統合を進めていかなければならないが、本委員会の取り組むテーマは、住民生活に直結する大きな問題であると認識している。本年は工業会の大部を占める中小企業では採用募集を単独で手広くすることが難しく、例えば、市が中心になり工業会への就職斡旋をしてくれる助かるとの声があつた。現在、大卒向けにはそうした会が設けられているが、高専卒向

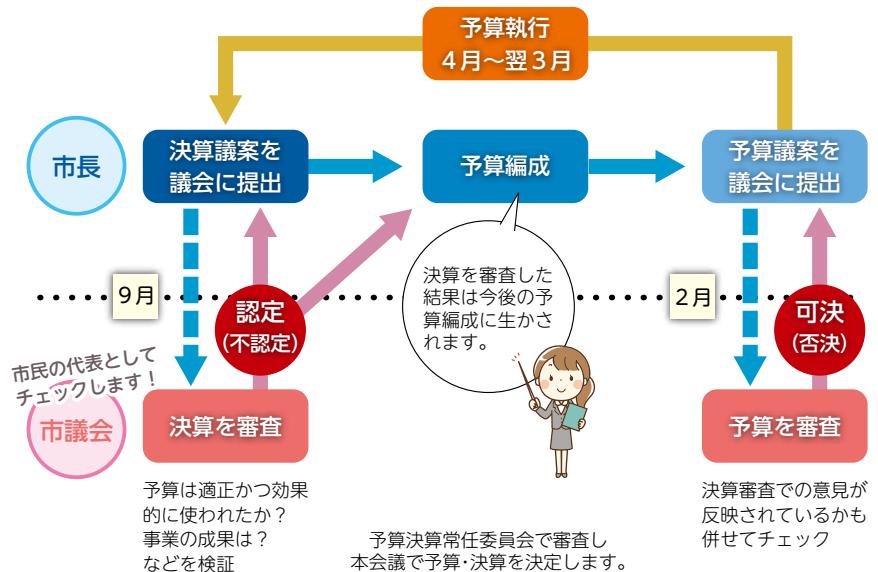
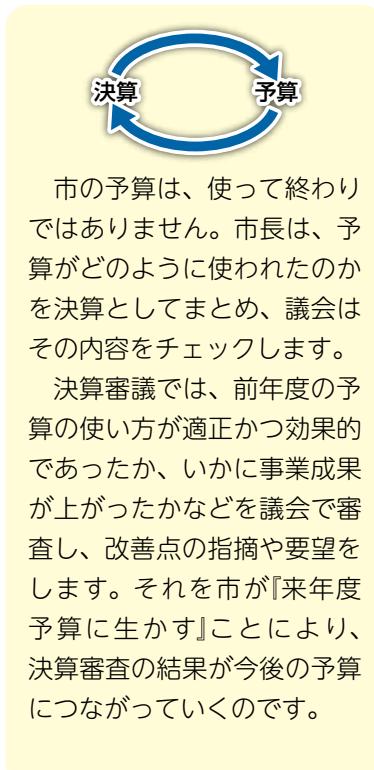
けがない。

採用募集する上で甲賀市の居住環境や公共交通の悪さが不利になつてることもわかつた。例えば若い社員が退勤後あるいは休日に遊びに行くところが少なく、これが敬遠されているのではと懸念されていた。社内の交流に不可欠な懇親会開催にも一苦労されていました。



平成30年度 甲賀市歳入歳出決算について 36議案(決算・補正予算・条例等)認定・可決

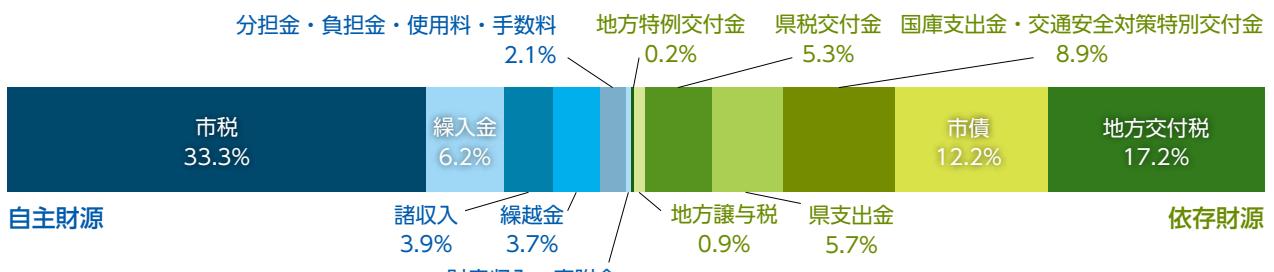
決算を審査して、今後の予算へつなげる!!



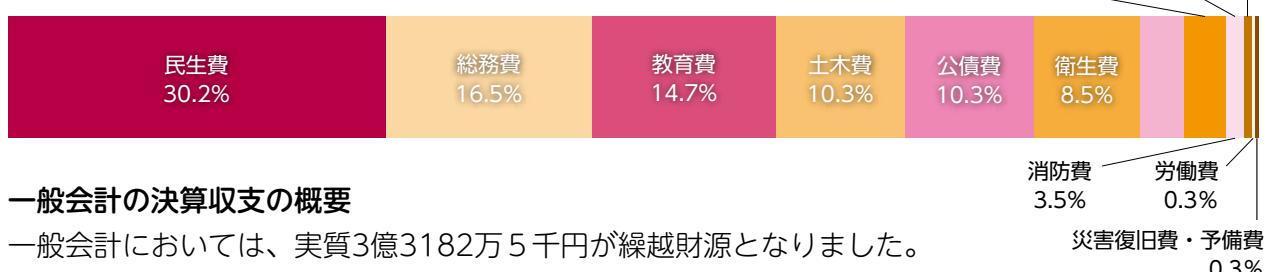
平成30年度一般会計及び特別会計などの決算議案については、本会議で議案審議を行ったあと、一般会計は予算決算常任委員会に、特別会計・企業会計は総務・厚生文教・産業建設常任委員会に付託され議案審査を行いました。その結果、各会計決算議案を原案どおりに認定しました。

平成30年度 一般会計決算状況

歳入決算の構成(決算額：429億1606万7995円)



歳出決算の構成(決算額：413億9137万3846円)



一般会計の決算収支の概要

一般会計においては、実質3億3182万5千円が緑越財源となりました。

決算審査①

決算審査

地方創生交付金事業

Q 全く事業化できなかつた点は何か、できなかつた事業も資料に示すべきではないか。

A 当初予算では、甲賀流DMO地域再生推進事業800万円が計上されていたが、観光DMOのあり方が変更されたことにより事業は未執行となつた。

審査結果

今後決算では、マイナス部分もしつかりと事業評価する必要があることを指摘しました。

総合政策部・総務部

Q ふるさと納税寄付額が約7400万円、前年度約1500万円より約5倍伸びた要因は。

A 昨年10月よりインターネットサイト「さとふる」が追加され、返礼品の地場産品のエンターネットえたため。返礼品は約38%が信楽焼、次いで近江牛約20%だった。

市民環境部・健康福祉部

Q 毎回指摘がある防犯灯の件は。



審査結果 委員会では「郵送

をやめるよう誘導される記述もあり問題である」との指摘があり、アンケートの返信がなくとも、郵送希望があれば今後も郵送を続けることを確認しました。

Q 市税の収入未済等、前年度より減少のことだが主な理由は。

A 滞納処分の徹底や分納の履行監視、執行停止や不納欠損処分を行ってきたことによるもの。

Q 「広報こうか」の郵送者にアンケートが実施され、回答があつた人のみ引き続き郵送する対応をしたことに対する改善をしては。

A 現在525人に郵送しているが返信があつたのは126人だけ。



市内に設置された防犯灯

Q 介護職員支援事業人材確保に関する実績と評価は。

A 介護職員の初任者研修補助実績8人、実務者研修補助実績は11人、研修後19人が市内事業所で一年間勤務についています。

A 現在、各自治会が管理する防犯灯について照会をかけており、細分化した区及び自治会230のうち218まで回収済みで、今後関西電力の情報とも照合して位置図を作成する。



小学校でのICT教育

Q ICT教育重視へ、電子黒板やタブレットの整備状況とその活用実態について報告を求める。

A 活用は一週間約30時間の授業日数に対して、先進的に導入した

Q 審査結果 防犯灯のあり方を考える上で大事なことなのでスピードアップして、まずは実態を明らかにする必要があることを委員会としても確認しました。新年度予算では具体的な対応を求めました。

Q 積算は実績に基づき適切にしている。年度終了後には各施設の決算書提出、その中で5%以上残額がある場合は指定管理料を返すことを協定で定めている。

Q 放課後児童クラブの指定管理の金額が適正かどうか判断しにくい。どういう基準で設定しているか。

こども政策部・教育委員会事務局

決算審査②

学校では12時間から20時間で活用しているという状況。今後は機器を有効に活用した授業に力を入れていくことが大事である。

審査結果 事務局からは、教育情報化に関連した教職員を中心に行進推進に向けた協議をして、さらに市のICT推進室と連携、教育の情報化推進計画を策定していくことを確認しました。



市内に設置されている
獣害柵

審査結果 カラスやムクドリ対策の必要性を求めました。

産業経済部・建設部

Q 獣害対策について、被害額は低減しているが捕獲頭数は横ばい。獣害対策のポイントは。
A 町落ぐみの取り組みで、山内地域のようにICTを導入し遠隔操作で捕獲する。3期目の強化期間は、甲賀地域鳥獣被害防止計画に終期を合わせるため、本年度より4か年としたい。



市内を走るコミバス

代表監査指摘事項

決算審査意見書に記されている点をふまえて、補足の説明をいたしました。この中で特に、前年度と比べて収納率は向上しているが、それでも県内13市の中で下から2番目という報告は初めてでした。代表監査からは「一生懸命

コミバス・コミタクについては、今年10月からコミタクの運行エリアが拡大され、無料乗車券の対象が80歳から75歳以上に拡充されましたが、委員会ではコミタクに対して否定的・消極的な意見が出たので、一定時間をかけて各委員が相互に意見交換する時間を設けました。

地域交通対策事業について

滞納対策に知恵を出してやつておられることは充分理解しているが、初期対応で市民に寄り添いながらアクション起こせばもう少し違うのではないか」と率直な感想が寄せられました。

最終の総括質疑

A 大口の償還が終了したため。
Q 合併して15年、当初の約束だけで補助金を出し続けてもいいのか疑問である。

A 新年度予算では各部局の補助金の見直しを徹底していく。

審査結果 区及び自治会管理の防犯灯の実態調査を、委託してでも早期に仕上げること。信楽高原鐵道の障がい者割引を協議していくこと。この数年の人口減少の鈍化が成果の一つかどうかとの認識について、確認しました。その他、自治振興会と区の関係、土地使用料、民間社会福祉法人施設整備補助の不用額についても指摘がありました。

反対討論

医療費無料化の拡充やエアコン整備、住宅リフォームなど市民の願を反映したものであり、一定評価できるが、5億円の財源確保の問題点、合併特例債による大型公共施設整備が進められた。しかし市民のねがいである学校給食費の負担軽減、子どもの医療費無料化などはまだであり、さらなる拡充が必要である。

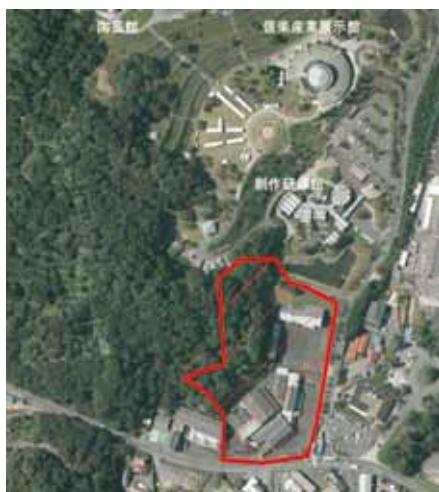
賛成討論

第二次総合計画の2年目であり、安心して暮せる基盤整備に取り組まれている。歳入に見合った歳出と経費節減など、財政健全化に向け効率的な予算執行に努めている。

岩永市長が進めるプロジェクト10、公共施設整備等、合併特例債の積極的な推進が図られたことは高く評価する。

採決の結果、本議案は、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

本会議で賛否が分かれた議論の2つをPick up!



今回取得予定の信楽・陶芸の森前私有地

賛成討論

滋賀県と甲賀市双方において合意され、適正な鑑定評価が行われている。陶芸の森との一体的価値があり、上段土地は地元からの要望の窯業試験場移転、下段土地については陶業振興用地としての利活用が期待され賛成。

面積 1万8261・36m²
価格 2億800万円

老朽化した滋賀県窯業技術試験場の新築移転が検討され、陶芸の森前の私有地への移転が滋賀県と甲賀市の間で合意されたことを受け、今回甲賀市がその土地を取得し、上段部分は現在の滋賀県窯業技術試験場用地との等価交換し、下段部分は市の陶業振興用地として活用します。

反対討論

地権者の反対債権について不明な所がある。不動産鑑定評価についての瑕疵の可能性があり、複数の鑑定を比較する必要がある。適正価格より高い可能性があり反対。

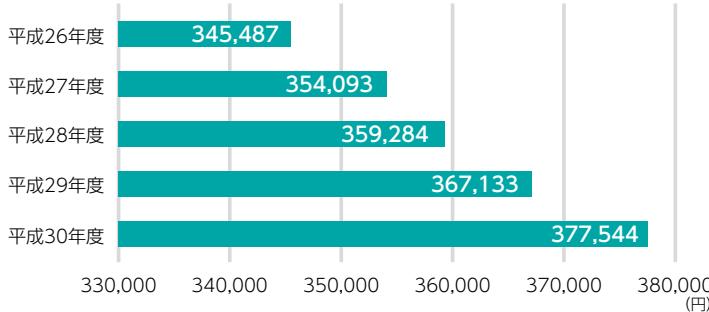
取得する土地の鑑定に一貫性がなく問題、継続審査とするべきと動議が提出されました。賛成者は少数で否決されました。

Pick UP ①
議案第78号
陶芸の森前私有地の取得

可決



国保1人あたり医療費



加入状況は世帯数1万1千4世帯、総世帯に対する加入割合は30・89%。後期高齢者医療制度に移行する人が増えているため、271世帯減少している。制度の

財政基盤を市町村から県に移行し、より安定した財政基盤で運用するよう変更してから始めての決算でした。

Pick UP ②
議案第50号
国民健康保険特別会計の認定

認定



**議会用語
カイセツ**

動議 ってなに？

議題の審議に直接関係のある事柄や議事の進行についての提議のこと。動議が成立するには、会議規則に定める賛成者が必要。

賛成討論

予算で計画した通りの決算内容で、より安定した県の財政基盤に移行できた。特定健診の受診率もAIを用いた分析で向上したことでも評価でき賛成。

反対討論

県に財政基盤を移行することは加入者にとって負担増となる。県で保険料を統一化することにも問題がある。国の財政支援が見えにくく反対。

9月定例會議案審議・意見書

議案の審議結果

議案の審議結果

全員賛成で認定・可決した議案	
平成30年度 決算	土地取得事業特別会計歳入歳出決算
	野洲川基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算
	病院事業会計決算
	診療所事業会計決算
	介護老人保健施設事業会計決算
	水道事業会計決算
	下水道事業会計決算
令和元年度 補正予算	一般会計補正予算(第2号)
	介護保険特別会計補正予算(第2号)
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
人事	人権擁護委員の推薦5件
条例の 一部改正	職員の給与に関する条例
	保育園設置等に関する条例
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
	消防団条例
その他	字の区域及び名称の変更(水口町貴生川)
	滋賀県市町村交通災害共済組合関係3件(規約の変更、解散、財産処分について)

賛成多数で認定・可決した議案	
平成30年度 決算	一般会計歳入歳出決算
	国民健康保険特別会計決算
	後期高齢者医療特別会計決算
	介護保険特別会計決算
その他	財産の取得(陶芸の森前私有地)

報告案件

財政について	平成30年度 健全化判断比率及び資金不足比率
経営状況について	信楽高原鐵道株式会社
	有限会社グリーンサポートこうか
	一般財団法人土山町緑のふるさと振興会
	公益財団法人甲賀創健文化振興事業団
	公益財団法人あいの土山文化体育振興会
	株式会社あいコムこうか



健全化判断比率・資金不足比率 ってなに？

健全化判断比率とは、地方公共団体の財政状況を客観的に表したもので、市の財政が悪化した時、早期に健全化したり、再生させる必要性を判断するためのものです。

資金不足比率とは、下水道などの公営企業の資金不足を指標化して、経営状況の悪化の度合いを示すものです。

地方公共団体はこれらを「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づいて議会に報告することになっています。かつては、地方公共団体の財政悪化が深刻化するまで全容が明らかにならないことがあったため、このような制度ができました。

また、地方自治法と政令に基づいて、市が資本金等の4分の1以上を出資している法人の決算と事業計画等についても、議会に報告することになっています。

意見書・議決結果

○・賛成 ●・反対

常任委員会 / 所管事務調査・視察研修

総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に
関わる委員会です。

所管事務調査

7月9日、8月19日に委員会を開催し、第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定および第3次多文化共生推進計画の策定、(株)あいコムこうかの経営状況について所管事務調査を行いました。

第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針(案)

現在の計画は平成27年度から令和元年度までの5年間を期間としており、計画に基づきこれまで交付金5億7千万円を受けています。同計画は国庫補助金等の特定財源を受けるために必要な計画であり、第2次の策定方針(案)について調査しました。

(株)あいコムこうかの経営状況

平成30年度の売上高は7億800万円、税抜後の当期純利益は1億1300万円といずれも過去最高となりました。一方、令和元年度の損益計算については売上高は7億100万円、営業利益は1億2800万円と前年度を上回る計画となっているものの、旧施設の撤去により当期純利益は前年度を下回る見込みです。



土山地域市民センターの6階には
あいコムのスタジオが



東京都葛飾区

視察研修

7月11日、12日の2日間、自治体の経営効率及び市民サービス、公民連携の2点の課題について東京都葛飾区と神奈川県横浜市において視察研修を行いました。

神奈川県横浜市

横浜市では「横浜市における公民連携の取り組みについて」研修しました。

同市では大学や民間企業、NPOや市民との連携を関係機関と行っています。組織では共創推進室を設置、公民連携のハブの役割を担っており、次の時代の都市間競争に打ち勝つためには、今、進めなければならないことばかりだと感じました。



葛飾区では「葛飾区総合アプリ」と「おもてなしができる職員の育成」について研修しました。研修では広報紙をはじめ自治体の紙媒体の限界を感じさせる内容であつたとともに、職員のおもてなし研修については、市民ニーズに応えるためにはどうあるべきか若手職員などの研修は本市においても参考にすべきと考えます。



常任委員会／所管事務調査・視察研修

厚生文教常任委員会

市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

所管事務調査

7月11日、8月20日、10月10日に委員会を開催し、待機児童対策および文化財保存活用地域計画(案)、市内医療機関の経営状況等について所管事務調査を行いました。

保育所等利用にかかる待機児童対策

Q 地域の声をどのように計画に組み込んでいくのか。

甲賀市における待機児童は平成31年4月1日現在27人で、前年4月1日に比べ21人の減となっていきます。その他にかくれ待機児童は45人いますが、市では待機児童対策として水口地域公立保育園の整備や地域型保育の推進を行っています。また、人材確保対策にも力を入れています。

※かくれ待機児童…特定の保育園等を希望している者・育児休業中の者を取り組んでいます。

文化財保存活用地域計画



増患対策が急務な信楽中央病院

10月10日開催の委員会では市内医療機関の経営状況について所管事務調査し、現地視察も行いました。特に信楽中央病院の経営状況は厳しく、今後、患者数の増加が急務です。

A まずは地域で話を聞いていただき、地域の思いに市が寄り添っていく。
A **Q** 計画策定に伴う予算の確保は、特定財源を入れることにより文化財予算を広げていきたい。

市内医療機関の経営状況

藤沢市では「誰もが住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らしができるまち」を将来像に「藤沢型地域包括ケアシステム」に取り組んでおられ、市民センター・公民館を中心とする各地域の特性を活かし、地域ぐるみの支えあい体制の構築に向け取り組みを行っています。



藤沢型地域包括ケアシステムを学ぶ

ゆうゆうのもり幼保園

ゆうゆうのもり幼保園は大きな吹き抜けの園舎の上部に子どもたちが自由に遊べるネットがあり組み込んでいくのです。



吹き抜けの上部には自由に遊べるネットがある

ても子どもの成長や生きる力を育む内容となつております。遊びを中心に行い、心と体の成長につなげる保育方針が端々に感じられ、施設面、運営面共に素晴らしい取り組みでした。



吹き抜けの明るい園舎

視察研修

8月5日、6日の2日間、神奈川県藤沢市と神奈川県横浜市のかくゆうのもり幼保園において視察研修を行いました。

地域包括ケアシステム

り、階段などを使って自由に出入りできる構造となつてます。また、保育方針や保育の目標、保育内容について

藤沢市では「誰もが住み慣れた

り、階段などを使って自由に出入りできる構

造となつて

ます。また、保育方

針や保育の

目標、保育

内容につい

ても子どもの成長や生きる力を育

む内容となつております。遊びを中心

に心と体の成長につなげる保育方

針が端々に感じられ、施設面、運

営面共に素晴らしい取り組みでし

た。

常任委員会／所管事務調査・視察研修

産業建設常任委員会

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関する委員会です。

視察研修

7月24日に委員会を開催し、現地3か所の所管事務調査と7件の報告を、また、8月19日開催の委員会では、現地3か所の所管事務調査と5件の報告を受けました。

所管事務調査



令和元年5月26日に開通した瀬田川令和大橋

国道422号大石東バイパス整備事業視察

平成30年2月25日に開通した伊賀市内の三田坂バイパスと大石東バイパスが開通することで、信楽地域を経由して大津地域と伊賀地域が最短で結ばれます。道路整備により信楽地域から大津地域や伊賀地域へのアクセスが向上し、地域間交流の活性化が期待されます。

永谷池視察

平成29年の台風21号により被害を受けた甲賀町五反田の永谷池の災害復旧工事は、当初平成31年3月29日完了の予定でしたが、事業が遅れ国庫補助が受けられず、一般財源で対応されました。遅れていた工事が令和元年5月31日で完了となつたことから現地の視察を行いました。



復旧工事が完了した永谷池

- ・ その他、次の4件について所管事務調査を行いました。
- ・ ロケーション推進事業
- ・ 公園管理
- ・ 付替県道大津信楽線
- ・ 信楽伝統産業会館

熱海市は古くからの温泉観光地ですが、昭和40年代前半をピークに人口も観光客も減少、空き店舗も増え景觀を悪くするなどの問題が起きました。これに対し、起業者支援やリノベーションスクールの開催など、まちの賑わいを取り戻すための様々な取り組みについて説明を受けました。



リノベーションスクールの様子

静岡県熱海市

8月1日、2日に静岡県熱海市と沼津市において「リノベーションまちづくり」について視察研修を行いました。「リノベーションまちづくり」とは、今あるものを活かし、新しい使い方をして、まちを変えることです。

静岡県沼津市

首都圏に近い沼津市においても人口減少など時代の変化・環境の変化から、新しいまちづくりを進めようと民間主導の「リノベーションまちづくり」が推進されています。利用者が減少し解体も計画されていた「少年自然の家」を活用し、泊まれる公園にリノベーションされた「INN THE PARK」を視察しました。



公園内テントエリア

特別委員会報告

開票事務不正調査特別委員会

7月17日に委員会を開催し、議会として開示を求めていた第三者委員会の答申（平成31年2月3日選挙管理委員会へ答申）の基となつた非公開文書である弁護士による『聞き取り調査報告書』の写しが提出されましたので、確認しました。

非公開とされた第三者委員会の答申の基となつた選挙管理委員会と市が依頼した弁護士3人による聞き取り調査報告書について、提出された資料は証言の食い違いや記憶が曖昧で事実認定ができず、公開することが関係者の著しい不

利益となる可能性があり混乱を招く恐れがあるなどの理由で、令和元年7月17日の委員会の聞き取り調査報告書の確認を賛成多数で非公開の秘密会として閲覧し、答申の『選挙事務に係る不適正処理に関する検証および再発防止策につ

いて』と聞き取り調査報告書を突き合わせ確認を行いました。結果、3人の弁護士による聞き取り調査内容については、何が事実認定でき何が事実認定できないか、また経緯や状況、職員の心情などについての確認は一応できましたが、特段、隠蔽等に関する発言や新たな事実を裏付けするものは確認できませんでした。

議会改革推進特別委員会

7月31日、10月8日に委員会を開催し、議会改革ロードマップやタブレットの検証、議員間討議について協議しました。

議会改革ロードマップ

委員会では今後の議会改革のロードマップについて検討、確認を行いました。

その中で議会基本条例や議会報告会の検証、広報広聴のあり方検討等に取り組むと共に、議員間討議の検討と試行に取り組むことにつき確認されました。

議員間討議の検討・試行

議員間討議については先進地の福島県会津若松市にその取り組みについて学ぶなど調査研究を行っています。委員会等における議案審査の議論をより活発にするとともに、意思決定までの議論の活性化を目的にまずは議員間討議を行いたいと考えています。

甲賀市議会 議会改革ロードマップ

令和元年度				令和2年度	
4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
		議会報告会の検証	R2議会報告会の計画		住民投票条例の検討
議員間討議の検討・試行				議決事件の検討	
		議会BCP(業務継続計画)の策定			
龍谷大学とのパートナーシップ協定締結				議会広報の充実(SNSの活用)	
タブレット検証		広報広聴のあり方検討			
議会基本条例の検証					



商業施設でのまちかどアンケート

広報特別委員会

広報特別委員会ではこの2年間、視察受入や広報セミナーで学んだことを、できる限り議会だよりの編集に活かしてきました。まちかどアンケートや高校生モニター会議なども積極的にを行い、市民のみなさんや若い世代の意見もできるだけ取り入れてきました。市議会だよりも今号で節目の60号となり、今の委員会では8回目の発行となります。現在の委員では最後になりますが、県市議会議長会では広報広聴について勉強会も行われており、今後、広報広聴の役割がより重要となつてきます。これからも市民により親しまれる市議会だよりを目指していくので、引き続きよろしくお願ひいたします。

20人の議員が 市の考え方を問う

令和元年
9月11日・12日・13日・17日

目次

令和元年 第2回甲賀市議会定例会一般質問

(通告順)

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	田中 喜克	1 市の情報受発信にLINE地方公共団体向けプランの活用・導入について 2 滋賀・甲賀は仏像文化の宝庫、それが一堂に会する博物館の整備について 3 近江鉄道の甲賀市としての存続意義・必要性の認識について 4 国際交流、住民が望む多方面・異文化交流について	10	岡田 重美	1 誰もが自分らしく生きられる社会へジェンダー平等について 2 青土ダムエコーバレイの施設整備について 3 旧東海道の町並み保全について 4 より便利なコミバス・コミタク運行について
2	森田 久生	1 「当市の商工業振興支援施策」について 2 「ICTを活用した市の業務支援」について	11	田中 將之	1 スカーレット放映開始に伴う対策について 2 甲賀市文化芸術条例の制定を
3	土山 定信	1 クリーンセンター滋賀の安全は確保されているのか 2 クリーンセンター付近の環境整備について	12	田中 新人	1 スポーツ及び施設について 2 ICT獣害対策について 3 旧東海道の舗装整備について
4	戎脇 浩	1マイナンバーカードによる地域活性化策について	13	山中 善治	1 市道春日八田2号線八田地先の通学路の安全対策について 2 大型特殊免許（農耕用）取得にかかる補助金支援について 3 甲賀市の学力向上について
5	山岡 光広	1 学校図書活動の推進について 2 市職員の「現職死」をなくし、健康で働きやすい職場環境をつくることについて 3 「簡易委託駅」その後について 4 高齢者による交通事故を防ぐため「アクセル制御システム」設置に補助を 5 子どもたちの通学の安全対策について	14	山中 修平	1 JR貴生川駅自由通路の清掃管理と雨漏り対応を問う
6	糸目 仁樹	1 民間救急車の利用促進の広報を 2 コミバス等をスマホで検索可能にできないか	15	橋本 律子	1 学校給食による食育・地産地消の促進について 2 地域包括ケアシステムの新たな展開について
7	辻 重治	1 地域振興事業について 2 農村振興について	16	里見 淳	1 余裕教室活用について
8	堀 郁子	1 希望ある幸齢社会実現に向けて 2 防災について 3 市税の納付忘れを防ぐためにSMSを活用してはどうか 4 給食費などの学校納入金を市で徴収・管理をしてはどうか 5 部活動指導員やスクール・サポート・スタッフの拡充について	17	小河 文人	1 新教育委員会体制から・3年を振り返る 2 老朽化した校舎の早期対策について 3 議員視察研修の職員参加について
9	鶴飼 勲	1 陶芸の森前私有地と当該地権者に対する甲賀市債権の関係について 2 平成31年度全国学力・学習状況調査の総括と市の考え方について	18	橋本 恒典	1 甲賀市青少年安全誓いの日関連事業について 2 全国植樹祭開催に向けた取り組みと鹿深夢の森の整備と今後の利活用について 3 広島平和記念事業について
			19	小西喜代次	1 市立医療機関・老健施設での無料低額診療事業の実施について 2 大戸川ダムは中止し、ダムに頼らない治水対策を最優先することについて 3 公立甲賀病院の休床病棟の早期再開について 4 学校の改修計画と雲井小学校のプール等の修繕補修について
			20	竹若 茂國	1 甲賀市地域防災について 2 会計年度任用職員制度について

■答弁者の凡例

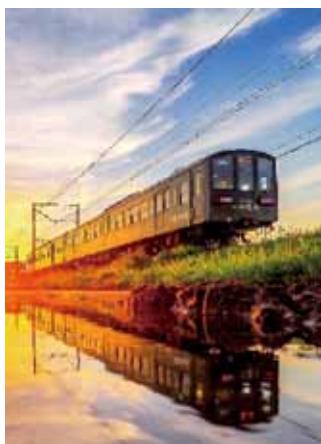
総務部理事	総務理事	産業経済部理事	産経理事	教育委員会事務局理事	教育理事
総合政策部長	総政部長	市民環境部長	市環部長	危機・安全管理統括監	危機統括監
産業経済部長	産経部長	こども政策部長	こ政部長	総合政策部理事	総政理事

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



QRコードで質問の
録画が見られます。



守り残したい甲賀路・湖東路を
ひた走る近江鉄道

Q 草津線、近江鉄道、高原鐵道各線の将来に向けた利活用の考え方はどうのように。
市長 市内の各鉄路がそれぞれ重要な役割を担つて現時、市の活性化に寄与している。これをより利活用し、計画の貴生川駅周辺特区構想やリニア中央新幹線開通等を見据えた市の将来の都市構造構築に結び付けたい。

Q 市の情報受発信にLINEの活用導入で、行政情報を市民に正確かつ迅速に届けられるシステムの確立は出来ないか。

総政理事 市でのLINE活用は既に「子育て支援」分野で公式アカウントを開設し、情報提供を行っている。紹介の「道路の不具合等を報告する仕組み」や「粗大ごみ回収の受付」等、様々な先進活用例を参考に府内協議や詳細を聞き取り、実施に向け研究を進める。

Q 草津線、近江鉄道、高原鐵道各線の将来に向けた利活用の考え方はどうのように。
市長 市内の各鉄路がそれぞれ重要な役割を担つて現時、市の活性化に寄与している。これをより利活用し、計画の貴生川駅周辺特区構想やリニア中央新幹線開通等を見据えた市の将来の都市構造構築に結び付けたい。

Q 市の情報受発信にLINEの活用導入で、行政情報を市民に正確かつ迅速に届けられるシステムの確立は出来ないか。

総政理事 市でのLINE活用は既に「子育て支援」分野で公式アカウントを開設し、情報提供を行っている。紹介の「道路の不具合等を報告する仕組み」や「粗大ごみ回収の受付」等、様々な先進活用例を参考に府内協議や詳細を聞き取り、実施に向け研究を進める。



田中
喜克



Q 近江鉄道の存続意義と必要性はあらゆる優位性から存続を望む

Q 甲賀北工業団地の次期開発展望は隣接43haの第一期計画も検討



森田
久生



当市産業振興の起爆剤
着々と工事が進む「甲賀北工業団地」

Q 地場産業振興の観点から、市への貢献度に見合つ、甲賀の薬業に対する助成が少ないのである。甲賀の薬業は、稼ぐ力の強い重要な基盤産業と認識。薬業業界との意見交換を密にし、振興支援に努めたい。

市長 信楽焼は、観光面の貢献も大きく予算規模だけでは比較出来ないが、甲賀の薬業は、稼ぐ力の強い重要な基盤産業と認識。薬業業界との意見交換を密にし、振興支援に努めたい。

Q 甲賀北工業団地の今後の展望は。
建設部長 現在第一期の15・5haを開発中であるが、引き続き隣接の第二期、43haも事業化の検討を進めている。

Q 地場産業「信楽焼」「甲賀の薬業界」年間生産額、市税法人納税額、今年度助成予算額は。
産経部長 信楽焼生産額約33億円、法人納税額約3千万円、助成予算は伝産業会館新設も含め5億5200万円。甲賀の薬生産額約574億円、納税額約7億円、助成予算1100万円。

Q 令和元年6月に、廃棄物を守っているシートの下の地下水から、初めて地下水基準の80%（0.008mg/L）のヒ素が検出された。

5月には、上の廃棄物に触れた浸透水も同じ程度のヒ素が検出され、シートに問題が起きたのではないか。

市環部長 7月・8月のヒ素は不検出であり

自然由来の可能性が高いと考えている。

Q 平成29年2月より、廃棄物に触れた水のホウ素が急に上昇している。廃棄物の下の地下水も通常の5倍になつておおり、廃棄物に触れた水が地下水に繋がったのではないか。

市環部長 ホウ素

は自然由来の可能

性が高く、近くでの工事の影響であると考へていて。シートに破損や劣化の報告は受けないと考へていて。教授にも確認したが、問題ないと意見をもらつた。



産廃物に触れた水と地下水の関係

Q クリーンセンターに問題はあるか。
A 報告は受けていない



土山
定信



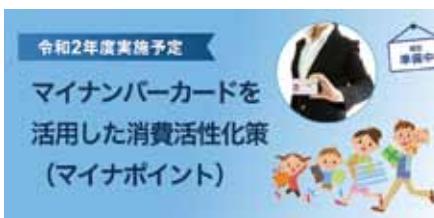


QRコードで質問の
録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

Q 個人番号カードには、番号本体以外に空き領域があり、この部分の有効活用が制度発足当初から課題となっている。国では消費活性化策として、カードの空き領域にプレミアム付きの「マイナポイント」制度を計画している。カードの保有が前提となるが、本市の取り組みはどうか。



総政理事 国の詳細設計などを情報収集し、本市にとつて最も効果的な方法を検討する。

Q 市民活動へのポイント付与なども含め、ま

ずは「公」が取り組まないと市民は利用できない。行政の責任として取り組むべきではないか。

市長 地域の消費拡大や住民活動の推進に

カードを活用するこ

とについて、地域の

実情に応じた取り組

みが必要と認識して

る。カードの保有率

や安全性など課題は

多いが、国や他自治

体の動向を注視しつ

を積極的に検討して
いく考えである。

Q 個人番号カードの有効利用を
A 様々な活用方法を積極的に検討



戎脇 浩



Q 学校司書の増員、7名へ復活を
A 司書との意見交換を重ね検討



山岡 光広



Q スマホで検索可能なコミニバスに
A 来年度運用開始を目指す



糸目 仁樹



Q 誰も乗っていないコミニバスを依然よく見る。
コミニバスを利用しない理由は、必要なバスがない場合もあるが、必要なバスがあつても知らないから乗らないケースもある。

甲賀市のコミニバ

スはスマート路線

検索では出ない。

検索を可能にし、
投資なく利用促

進を図れないか。

建設部長 本年

度中にオープン

データの準備を

し、来年度から

検索可能な状態を実現する。



コミニバスをスマホで検索可能にして利用促進

Q 大規模災害時の備えと平時の救急車適正利用促進のため、民間救急車普及促進を昨年12月議会で要望し、すこやか支援課の「社会資源のしおり」にて業者情報の掲載を頂いた。もう一歩踏み込み、市として啓発・業者情報掲載のボスター等で広報出来ないか。

危機統括監 甲賀広域行政組合との協議で検討したい。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



QRコードで質問の
録画が見られます。

Q クリーンセンターの稼働状況は。
市環部長 当初計画を確保するため、施設整備をし、3月末の埋立て進捗率は55・6%である。施設の安全対策では、情報管理システムや各種環境モニタリングを行い実施している。

Q 地域振興事業計画の進捗状況は。
総政部長 平成30年度末で甲賀地域は30事業のうち18事業が完成。助成額は約58%。土山地域は22事業の内10事業が完成。助成額は52%。両地域とも公社及び県と協議を進め推進することである。

Q 農業用ため池の管理及び保全は。
産經理事 豪雨等により、ため池の機能確保と決壊等による被害防止のため知事への届け出が必要で、機能発揮に適正な管理に務めることである。

Q 家族農業への対応は。
産經理事 過疎化高齢化が進む中、新しい家族農業の姿を創出し多面的役割を発揮できる支援策の構築を考える。



地域を守る小規模農家



辻 重治



Q 地域振興事業の取り組みについて

A 関係機関と協議し進める



堀 郁子



Q 8050問題への市の相談体制は

A 社協で居場所作りや相談窓口設置



Q 農業用ため池の管理及び保全は。
産經理事 豪雨等により、ため池の機能確保と決壊等による被害防止のため知事への届け出が必要で、機能発揮に適正な管理に務めることである。

Q 家族農業への対応は。
産經理事 過疎化高齢化が進む中、新しい家族農業の姿を創出し多面的役割を発揮できる支援策の構築を考える。

Q 全国調査で40~64歳でひきこもり状態の人は約61万人との結果が出て高齢の父母が家計を支える8050問題の深刻さが現れてきた。市の対応について聞く。本人の居場所作りや家族の会はあるのか。ひきこもりの方が1人で生活が出来るようファイナンシャルプランナーの相談窓口をしては。厚労省が強化する「断らない相談支援」の補助金で例えば「おくやみコーン」等を設置しては。もっと相談窓口を見える化しては。

Q 地域振興事業計画の進捗状況は。
市環部長 当初計画を確保するため、施設整備をし、3月末の埋立て進捗率は55・6%である。施設の安全対策では、情報管理システムや各種環境モニタリングを行い実施している。

Q 農業用ため池の管理及び保全は。
総政部長 平成30年度末で甲賀地域は30事業のうち18事業が完成。助成額は約58%。土山地域は22事業の内10事業が完成。助成額は52%。両地域とも公社及び県と協議を進め推進することである。

Q 家族農業への対応は。
産經理事 過疎化高齢化が進む中、新しい家族農業の姿を創出し多面的役割を発揮できる支援策の構築を考える。



鵜飼 勲



Q 陶芸の森前私有地取得について

A 個々の事案について答弁を控える



Q 本件土地売買に係る契約の相手方は誰か。
産經部長 土地の所有者である個人2名。

Q 抵当権の抹消は誰の責任においてされるのか。
産經部長 契約の相手方が抹消の事務を行う。

Q 本市が有する反対債権が存在するのか否か。
産經部長 契約の相手方が抹消の事務を行う。

Q 本市が有する反対債権の総額は。
総務理事 地方税法22条、秘密漏えいに対する罪により答弁を差し控える。

Q 全国学力学習状況調査の本市の状況は。
教育長 結果については、県と同じ傾向であり全教科で全国平均を下回っている。

Q 本市の学力向上に向けた総括は。
教育長 個々の児童生徒の課題を解決する取り組みを継続的に行い、地域と連携し放課後や長期休暇中における学習会なども充実させる。

Q 全国学力学習状況調査の本市の状況は。
教育長 結果については、県と同じ傾向であり全教科で全国平均を下回っている。

Q 本市の学力向上に向けた総括は。
教育長 個々の児童生徒の課題を解決する取り組みを継続的に行い、地域と連携し放課後や長期休暇中における学習会なども充実させる。



ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

一般質問



岡田 重美



- Q ジェンダー平等に対する認識は
A ジェンダー平等社会実現は重要**

Q ジェンダー平等は、女性だけでなく、男性もLGBTなど多様な性も含むすべての人の問題であり、誰もがひとりの人間として尊厳される社会の実現が求められる。ジェンダー平等に対する市長の認識は。

市長 全ての市民の人権が等しく尊重され、誰もが自分らしく生きられる社会の実現が大変重要であると認識している。

Q 青土ダム工コーバレイ内ブルーリバーパーク駐車場に洋式トイレの整備を。ブルーシャトル2階への階段への安全のため手すり設置を。

建設部長 洋式トイレへの改修は必要。計画的に実施したい。手すり設置は指定管理者と協議する。

Q 旧東海道町並み保全に関する市の考えは。

教育部長 必要な調査を実施した上で、所有者や地域の方々の保全に向けた取り組みを支援していく。



旧東海道土山宿の町並み



田中 将之



- Q 甲賀市文化芸術条例の制定を
A 市民の意見を反映し進めたい**

過去2回にわたり定例会で、条例の制定について質問をした。文化芸術に関する条例の制定は、市文化のまちづくり計画が2019年最終年を迎えるので、この10年間の経過を踏まえ、課題などをしっかりと整理した上で対応を検討したい」と答弁があった。

現在、市では、市文化のまちづくり計画2次計画の策定に向けて審議会を開催し計画素案を策定しているが、条例化について審議会で議論をしたのか。また、条例制定について市はどのように考えているのか。

教育部長 これまで条例化について市文化のまちづくり審議会での議論には至っていない。今後の審議会で文化芸術条例を審議いたします。



やまなみ工房で制作に励む岡元俊雄さん



田中 新人



- Q 新水口体育館の工事進捗状況は
A 進捗率は全体工事の24%出来高**

Q 空調設備の能力とGHP（ガス・ヒート・ポンプエアコン）の採用とEHPとの比較検討は。
教育理事 EHP電気モーターヒートポンプを採用し、冷暖房として50kW～112kWの能力。比較検討でエネルギーコストはGHPが優れているが初期投資が高くEHPを採用。

Q 総合型スポーツクラブの市の考え方。

教育部長 地域にとつて欠かせない存在で、各クラブが活発に活動できるよう連絡協議会や関係団体等と意見交換を進め連携を図る。



建設中の新水口体育館

Q 獣害でICT（情報通信技術）の採用は。
産経理事 4月にICT推進室が設置された。猿の位置情報を把握でき有効な手段。

建設部長 経年劣化や水道管の取り出しなど占用行為により凹凸が積み重なり良好でない箇所がある。その状況を勘案し面的な補修を検討。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



QRコードで質問の
録画が見られます。

Q 通学路付近の開発の安全対策は

A 住民の意向を反映する

建設部長 道路を新設または改築する場合には「甲賀市道の構造の技術的基準を定める条例」が定められているが、通学路に特化した条例はない。今後、園児等の移動経路における安全確保についても対策を検討する。

Q 開発行為における「甲賀市みんなのまちを守り育てる条例」の趣旨尊重を問う。

建設部長 条例では、土地の利用目的を変更する時、区域が1千m²以上の場合一に手続きが必要で、近隣住民への周知や造成行為に対する技術的な基準による整備などを求めている。近隣住民への周知は開発事業区域の隣地境界線から15mの範囲の土地所有者、住民に対しても開発事業の計画概要等を周知すべき事項と定め、事業計画概要等を説明した上で、その意向を聴取し、可能な限り事業計画に反映するものである。



安全対策が待たれる通学路



山中 善治



Q 貴生川駅自由通路の管理を問う

A 市の顔に相応しく美化に努める

建設部長 エレベーター、階段と連絡橋の全幅員であり、改札の入口と自販機設置場所はJRの管理である。

Q 駅の清掃管理と実態の認識は。

建設部長 障がい者就労支援部会を通し、週2回実施して頂いているが、老朽化と汚れの蓄積を認識している。

Q 他の駅でしている専門業者による清掃は。

建設部長 JR、近江鉄道との協議が必要で、近年はできていないが、前向きに検討する。

Q 自由通路の中ほどでひどい雨漏れがするが。

建設部長 把握している。桶に小枝などが溜ることに因るが、縦桶も含め改善を図る。

Q 自由通路の業者清掃と雨漏れ対策を願う。

市長 甲賀市の玄関口として良好な環境になるよう、専門業者による清掃や雨漏れの修繕を実施し、貴生川駅周辺特区構想を踏まえて抜本的な対策を検討する。



市が管理している貴生川駅自由通路



山中 修平



Q 学校給食での食育の現状と課題は。

健福部長 食習慣・毎日の朝食摂取の推進に努めている。しかし、成人期になると4人に一人が朝食を食べていない現状。給食ではアレンギーの増加や地場産野菜活用などが課題。

Q 給食に地産地消を今後どう図る。

教育部長 地元産の食材の活用は重要。郷土愛の醸成を向上するため、より積極的な活用に努める。

Q 米飯給食回数の増進をより進める考えは。

教育部長 予定の西部給食センターでは炊飯室を整備することから県水準の週4回へ努力したい。

Q 市民からの相談などの増加にどう対処できるか。地域包括ケアシステムの新たな展開を。

健福部長 現在の保健センター・包括支援センター等だけでは難しい状況。地域マネージャー・支援コーディネーター・地域力を活用できる方向を検討する。

県内の米飯給食回数

地区	回数(週)	米以外献立(平均値)
高島市	4.5～4.75	パン 月1回 麺 月9回
野洲市	4.25～4.75	パン 月1～2回 麺 月1回
草津市	4.75	パン・麺 月1回
甲賀市	3.25	パン・麺 月4回
県平均	3.85	



橋本 律子





一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



ミホミュージアムでの特別展（すでに終了）

教育部長 「史跡紫香楽宮跡整備活用計画書」を含め全体像を勘案し、観光振興を推進していく中で検討していく。



タイルが剥がれ落ち、いたるところにクラックがある信楽小学校

市長 広島平和記念事業の意義と成果は、本事業は小学生の子どもたちが戦争や原爆の悲惨さを学び、平和や命の尊さについて考える平和学習として平成17年度から実施されており、大変有意義である。

Q 雲井小学校の余裕教室を児童クラブに活用した事例についてどうだったか。
教育部長 学校敷地内での設置で安全な居場所の確保ができ、学校と児童クラブが連携を取りながら順調に運営されている。
Q 今後の余裕教室の活用については。
教育部長 活用を希望される団体と十分協議を行いながら、有効活用へ前向きに対応する。
Q ミホミュージアムで開催された「紫香楽宮と甲賀の神仏展」の展示の内容を雲井小学校の余裕教室で再現してはどうか。
教育部長 「史跡紫香楽宮跡整備活用計画書」を含め全体像を勘案し、観光振興を推進していく。

Q 教育委員会は老朽化校舎の対応について、今後どのような計画を持つて当たるのか。
教育理事 現在、小中学校施設長寿命化計画の策定を進めている。本計画では、児童生徒数の推移を踏まえ改修の可否を判断する。
Q 学校再編計画と切り離しての考えは。
教育理事 個々の劣化状況を勘案し、対応する必要があると考える。

Q 合併特例債期限内の計画及び実施は可能か。
教育理事 合併特例債の期限も考慮し、地元の要望も受けているので、築45年を経過した老朽化した校舎は早急に計画を立てて対応していきたい。

Q 余裕教室活用について
A 有効活用へ前向きに



里見
淳



Q 老朽化した校舎の早期対策を
A 合併特例債期限を考慮し対応する



小河
文人



Q 青少年安全誓いの日関連事業は
A 四万十川水難事故を教訓に



橋本
恒典



全国植樹祭の主会場となる鹿深夢の森

Q 全国植樹祭に向けた取り組みは。
市長 県実行委員会において、大会テーマ、シンボルマークが決定し、本格的なPR活動が展開できるようになった。
Q 鹿深夢の森の今後の利活用は。
市長 市民が集う総合的な施設としての役割があり、今後、複合的な施設の立地を生かした多世代が触れ合える施設として充実を図る。



QRコードで質問の
録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

市長 地方独立行政法人化で 法人に経営の裁量があり、患者の受け入れに支障がないことから、市として特段の対応は考えていない。
Q 学校の今後の改修計画と雲井小学校のプール等の修繕補修を求める。

教育理事 小中学校施設長寿命化計画への見直しにより進め



傾斜がきつい雲井小学校の駐車場への進入路

傾斜がきつい雲井小学校の駐車場への進入路

総務部長 現行の必要職種ごとに公募採用を基本に、保育士が安心して働く制度に取り組む。

Q 同一労働同一賃金による給料、勤務条件

総務部長 常勤職員との均衡を考慮し制度設計を行い、諸手当、諸制度については、総務部の事務処理マニュアルによりすすめる。

Q 労働組合と真摯に向き合った対応を。

市長 臨時嘱託職員は約900人おり職員労働組合にも丁寧な説明と意見を伺う。

市長 タムを起点とした河川改修で早期整備が図られることからダム建設は必要と考える。
Q 5月1日から甲賀病院の病棟48床が、看護師退職のため休床されている。早期再開を。

Q 8月29日に国交省と大戸川ダムの建設中止を求め、直接交渉を行った。効果が限定的な本戸川ダムは中止し、ダムに頼らない治水対策を最優先すべき。

Q 無料低額診療事業は、お金がなくても、保険証がなくても医療機関につながる入り口となる制度。市立医療機関・老健施設での実施を。
A 健福部長 市立施設において 無料低額診療事業を実施することは考えていない。

A 雲井小学校駐車場進入路の改善を
安全確認に支障。対応を検討する



小西喜代次



A Q 防災士が活躍できる組織づくりを 防災士位置付けの明確化をはかる

Q 避難困難な人は、体育館のような集団の中では生活ができない。
危機統括監 避難困難な人のために身近な所に



Q 防災士の市民認知度
はまだ低い。

市長 防災士の認知度を高め、防災組織における

【臨時嘱託職員任用】の条例化に伴う現職の
保育士の待遇は。

Q 同一労働同一賃金による給料、勤務条件諸手当はどうあるのか。

総務部長 常勤職員との均衡を考慮し制度設計を行い、諸手当、諸制度については、総務省の事務処理マニュアルによりすすめる。

Q 労働組合と真摯に向き合った対応を。
市長 臨時嘱託職員は約900人おり職員労働組合にも丁寧な説明と意見を伺う。



龍谷大学と地域連携協定締結

甲賀市議会は龍谷大学との間で、双方の持つ資源を活用し両者の連携と相互協力を確立するための地域人材育成に関する協定を10月16日に結びました。



主な内容は

- 高度な学術情報の取得及び専門的研究者との交流ならびに職務上必要とする研修・研究の機会を得る。
 - 大学院生に対する実践的教育研究の一環としてインターンシップの受け入れ。
など、相互にメリットを獲得しつつ分権社会における地域公共政策の高度化・多様化に協力して取り組んで行くことを目指します。

(左から) 龍谷大学 白須正 政策学部教授、北川秀樹 政策学研究科長、甲賀市議会 林田久充 議長、十三定信 副議長

組合議会報告



2億700万円で更新されたはしご付き消防自動車

甲賀広域行政事務組合議会

令和元年第3回定例会

10月7日

平成30年度一般会計歳入歳出決算、令和元年度一般会計補正予算第2号、地方公務員法の改正等に付随する一部改正条例の制定3件、計5議案を審議し、全議案全員賛成にて可決・認定されました。

平成30年度一般会計歳入歳出決算 算の認定

歳入総額	36億8千万円
歳出総額	36億4千万円
歳入の主な項目は、収入の76%を占める構成市の負担金28億1千	万円（甲賀市18億4千万円、湖南市9億7千万円）と、使用料・手数料収入4億3千万円。

歳出では、衛生センター関連で、33人の人件費の他総務費が4億円、し尿処理費が1億2千万円、

ごみ処理費が6億2千万円が主な構成項目となっています。消防関連では、常備消防費として193人の人件費14億6千万円が主な構成項目であります。

衛生センター関連で当面の課題として、ごみ処理施設の設備改良事業があります。平成7年度の稼働から24年目となる施設の延命化が令和元年度（元年度は契約のみ）から令和5年度までの5年間で「基幹的設備改良事業」として計画されています。

質疑
不用額2463万円の主な要因と、監査意見書に不用額の記述が一切なく、監査に当たつての認識について質問がありました。
採決 全員賛成にて可決・認定
一般質問

甲賀市の山岡光広議員から救急出動状況等について、湖南市の松井圭子議員から地域循環型のトンネルコンポスト導入方式について質問がありました。

公立甲賀病院組合議会

令和元年第3回定例会 10月7日

「地方独立行政法人」になる以前の病院事業会計決算認定、病院組合一般会計決算認定、他1議案が上程され慎重審査の上、承認・認定いたしました。

平成31年度一般会計補正予算の 専決処分

法人化により職員の退職手当組合から脱退。積立金の返還を歳入に同額を法人に振り替えるもの。

採決 全員賛成にて承認

病院組合の運営にあたる会計の決算。

平成30年度一般会計歳入歳出決算 算の認定

病院組合の運営にあたる会計の決算を審査することは今回で最後となり、今後は中期目標、中期計画の議決を通して病院事業を審査することになります。

平成30年度公立甲賀病院事業会 計決算の認定

診療報酬のマイナス改定、新規入院患者数の減少、平均入院日数の短縮、また外来患者数の減少により医業収益は大幅な減収。また新病院建設時の余剰金の清算を両市に行つたことによる特別損失の計上で、14億8千万円の純損失となつた。

その原因の詳細説明を求め、今後の改善策などを併せて審査。



法人化後も変わらず地域の中核病院として

あなたとつなぐ

市議会議員紹介

Vol.6

市民の
みなさんに市議会
議員をみぢかに感じて
いただきたいとのおもい
から、議席番号順に全議
員をクローズアップ
していきます。

えびす わき
戎 脇

ひろし 浩
水口町在住

Q 議員を志したきっかけは？

地域活動や介護経験を活かし、もっともっと好きなまちにしたいと思ったから。

Q 議員になって感じたことは？

改めて課題の多さに直面し、その解決の困難さに気付かされた。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？

市民の皆様の代表として、決定することの責任の重さ。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？

気軽に声をかけていただける所作。寄り添いながら、お話しを聞くこと。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？

好天ならば、遠く琵琶湖や八幡山城址まで、四方を見渡せる古城山山頂。



おがわふみと
小河文人

信楽町在住



Q 議員を志したきっかけは？

次の世代にツケを残さない夢と希望のある甲賀市へと引き継ぎたい。

Q 議員になって感じたことは？

議会という公開の場で堂々と議論できること。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？

即行動、即実行、市民の切実な願いや思いを待たせてはいけない。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？

自身の考えや年4回の議会報告を機関紙ふみチャンネルでお知らせ。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？

玉桂寺弘法橋から見る、SKR、勅旨の田園風景、長野の街並。

編集後記

▶今回発行の紙面で2年間の任期を終えます。議会広報がどのように読者に伝わり読まれているのか?委員会の試行錯誤の2年間であったと思います。▶広報広聴とは?特に広聴が重要です。高校生・若者世代・女性などから意見をお伺いしながら多くの人に議会活動を知つもらう機会になりました。▶次期広報委員会に期待したいと思います。

(広報特別委員 小河文人)

議会の傍聴にお越しください!

本会議委員会は誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は議会事務局までお問い合わせください。

12月議会の予定

11月28日 10時～
本会議(第1回)議案上程・提案理由説明

12月6日 10時～
本会議(第2回)議案審議

12月9日 10時～
本会議(第3回)一般質問

12月10日 10時～
本会議(第4回)一般質問

12月11日 10時～
本会議(第5回)一般質問

12月12日 10時～
本会議(第6回)一般質問

12月13・16・17・18
9時30分～
委員会

12月19日
委員会予備日

12月23日 10時～
本会議(第7回)最終日

カメラの



オープンテラスでの若者モニター取材は、清々しい若者との和やかな会話と、快晴も相まってとっても気持ちよかったです。私のポーズ依頼に期待した以上にバリエーションを出してくれたり、アイデアを出し合ってポジティブに撮影ができたのが写ったと思います。



(写真撮影：里見淳委員)